

船舶事故調査報告書

令和元年11月20日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突（岸壁）
発生日時	令和元年5月16日 13時39分ごろ
発生場所	北海道根室市根室港北地区岸壁 根室北副防波堤灯台から真方位140°500m付近 （概位 北緯43°20.7′ 東経145°35.0′）
事故の概要	巡視船くなしりは、着岸操船中、岸壁に衝突した。
事故調査の経過	令和元年5月16日、主管調査官（函館事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	巡視船 くなしり、358トン
船舶番号、船舶所有者等	141479、国土交通省
乗組員等に関する情報	船長、一級（航海）
負傷者	なし
損傷	本船 船首部外板に凹損 岸壁 擦過傷等
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南西、風速 約4～8m/s、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の初期
事故の経過	<p>本船は、船長ほか19人が乗り組み、船長が、入船右舷着けの予定で着岸操船中、主機を微速前進と中立とを交互に使用し、徐々に減速しながら左回頭して船首を根室港北地区岸壁（以下「本件岸壁」という。）に向けた際、後進を令したつもりで微速前進を令し、本件岸壁至近で主機を後進としていないことに気付いて後進を令したものの、間に合わず、船首部が本件岸壁に衝突した。</p> <p>本船は、左回頭する際、左舷錨を投下していたが、錨鎖は張っていなかった。</p> <p>本船の乗組員は、船長の操船について、当初少し急いでいるぐらいに感じていたが、岸壁まで約15mになったときに疑問を感じた。</p>
分析	本船は、着岸操船中、船長が、主機を微速前進と中立とを交互に使用し、徐々に減速しながら左回頭して船首を本件岸壁に向けた際、後進を令したつもりで微速前進を令し、微速前進としたまま本件岸壁に接近したことから、船首部が本件岸壁に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が着岸操船中、船長が、徐々に減速しながら左回頭して船首を本件岸壁に向けた際、後進を令したつもりで微速前進を令し、微速前進としたまま本件岸壁に接近したため、船首部が本件岸壁に衝突したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 離着岸操船時は、主機の状況を常に把握すること。・ 乗組員は、ふだんと違うと感じた際、操船者に対して積極的に進言するなど、BRMの強化を図ること。 |
|--|---|